

〈テーマ〉学力向上に向けた教科部会（数学科）の取組（大河原町立大河原中学校）

異なる経験年数の数学科教員が集まった教科部会での協議

若年層の成長，新しい視点の獲得

教科部会の定例化，延期しない時間設定

多いときで週に2回の実施，全員揃わなくても実施で定着

教科部会の充実



校内での研究授業
アイデアを出し合って指導案を検討。忙しくても、少しの時間でも、必ず参観。教科部会で検討会を持つ

学習規律・学習習慣の共通化
授業の流れ、ノート指導、家庭学習とのサイクル形成など、数学科として、全学年で統一

苦手な分野に全員で取り組む

CRT等の結果から、苦手な関数や図形の領域を、1～3年を見通して教材研究

公開研究会に向けた先行授業の実施

一つの学年を複数の数学教員が担当していることを生かし、先行授業の実施と検討、授業改善

学校全体としての 数学の授業改善・学力向上

